

(人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

『中枢神経系炎症性脱髄疾患におけるメンタルヘルスに関する研究』

本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【対象となる方】

2022年 7月 1日 ～ 2022年 12月 31日までの間に、国立精神・神経医療研究センター 病院 脳神経内科診療部にて、『中枢神経系炎症性脱髄疾患におけるメンタルヘルスに関する研究』に参加された方

【研究期間】

研究開始日より 2027年 3月 31日まで

【研究責任者】

岡本 智子（国立精神・神経医療研究センター 病院 脳神経内科診療部・副部長）

【試料・情報の利用目的及び利用方法並びに利用する者の範囲】

本研究の名称は、『中枢神経系炎症性脱髄疾患におけるメンタルヘルスに関する研究』といいます（承認番号：A2022-014；研究期間：2022年 5月 ～ 2027年 3月）。

「多発性硬化症（MS）」や「視神経脊髄炎（NMOSD）」といった疾患を合わせて「中枢神経系炎症性脱髄疾患」と呼びますが、本研究ではそれらの患者さまを対象として、精神の健康、いわゆる「メンタルヘルス」に関する質問用紙や、生活の質、いわゆる「クオリティ・オブ・ライフ（QOL）」に関する調査、幼少期の体験に関するアンケートや、認知機能を測定するテストなどを通じ、患者さまの精神・生活・健康・症状といった

作成年月日： 2025 年 2 月 25 日 第 20 版

それぞれの要素を多角的に収集して解析することを目的としています。

このたび、2022年 7月 ～ 2022年 12月にかけて本研究の説明を受けて同意をいただき、研究へご参加いただいた皆さまにつきまして、これまでに得させていただいたデータに加え、ふだんの診療の中で受けていただいた血液検査の結果や、身体機能・日常生活機能に関する検査の結果を診療録から取得し、解析に加えさせていただきたいと考えております。血中の炎症指標などの身体的なデータをこれまでの解析に加えることで、より多面的な角度で研究を行なうことが可能となります。さらに、これを実現することで「中枢神経系炎症性脱髄疾患」のメカニズムを明らかにしたり、医療や生活の質向上に結びつく知見を得たりするための研究がよりいっそう進むと考えています。

ただし、新たなデータの使用を望まれない方は、お申し出ください。なお、データの解析からそれ以降の手順は研究用の番号で管理し、個人を特定できるデータは扱わない形で進めて参ります。また、すでに解析が進んでいる場合や、発表を行なった後の段階では、データ使用の拒否をいただいた場合でも特定の方のデータを除くことは難しいこと、あらかじめご了承くださいましたら幸いです。

情報等を利用する者の範囲につきましては、国立精神・神経医療研究センターの研究チームが解析のために用いるほか、このたび共同研究機関として加わる東京医科大学の研究者とも共有し、ともに解析を実施いたします。

【利用又は提供する試料・情報等】

情報等：診療録（年齢、性別、診断名、血液検査の結果や、身体機能・日常生活機能の検査結果）

提供する情報の取得の方法：診療録から入手

【利用又は提供を開始する予定日】

2025年 6月を予定しています。

【共同研究機関】

学校法人 東京医科大学 研究責任者 稲川 雄太

○ 問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 病院

作成年月日： 2025 年 2 月 25 日 第 20 版

所属 脳神経内科診療部 氏名 岡本 智子

電話番号 042-341-2711

e-mail: okamoto※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)

○ 苦情窓口

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 倫理委員会 事務局

e-mail: ml_rinrijimu※ncnp.go.jp (「※」を「@」に変更ください。)